

農山村の地域資源を次世代に

「都市と農山村をつなぐボランティア活動」

とちぎ夢大地応援団

令和3年度とちぎ夢大地応援団活動・カレッジ活動



▲茂木町飯地区(焼森山の管理作業)



▲茂木町小深地区(早坂の棚田の管理作業)



▲大田原市両郷地区(いちごハウスの管理作業)
[カレッジ活動]



▲那珂川町小砂地区(シジュウカラの巣箱設置)

- ・令和3年度応援団活動・カレッジ活動を紹介します。
(2~4頁)
- ・応援団カレッジ活動に参加した学生から感想をいただきました。
(4頁)
- ・とちぎ夢大地応援団からTUNAGUに活動が引き継がれることに伴い、関係者からコメントをいただきました。
(5頁)
- ・マッチングサイト「TUNAGU」で活動しよう。
(6頁)

はばたけ夢大地
最終号 2022/2
とちぎ夢大地応援団事務局
(公財)栃木県農業振興公社
栃木県農政部農村振興課

令和3年度第3回とちぎ夢大地応援団活動(活動報告その1)



茂木町飯地区でミツマタ管理作業を実施しました！ “11月6日”

焼森山ミツマタ保全協議会が受入組織となり、伐採されたミツマタの枝木の搬出作業と遊歩道の整備を、2班に分かれて、効率よく作業を進めました。

普段山道を歩かない方にとっては、前屈みで縄を縛り付ける作業に四苦八苦する場面もありましたが、皆さん協力してキレイに整備することができました。

現場は、このような山間地域でしたが、ミツマタが咲き誇る時期になると沢山の人が、県内外から訪れるそうです。当日も多くの上り客や草木を撮影するアマチュアカメラマン達が訪れ、散策を楽しんでいました。

◀ 当日は、関係者も含め39名で活動しました。



令和3年度第4回とちぎ夢大地応援団活動(活動報告その2)



茂木町小深地区で棚田の管理作業を実施しました！ “11月27日”

現場である“早坂の家”の前に広がる棚田は、栃木県の棚田100選にも選ばれた大変美しいところです。オーナーである矢野さんは、実家を改装し、田植体験や収穫体験等、多くの人たちを受入れるグリーンツーリズム活動を行っています。

景観を一層美しくするため、田んぼに沿った斜面への彼岸花の植栽や、先の大雨で崩れてしまった畦の補修作業を行いました。矢野さんからは、水棲生物や野鳥、植物の解説等、参加した団員を飽きさせないお話しをしていただき、この土地に対する深い愛情を感じられる一幕もありました。

◀ このような急斜面で活動を行いました。



令和3年度第3回とちぎ夢大地応援団カレッジ活動(活動報告その3)



大田原市両郷地区でいちごハウスの管理作業を実施しました。“12月4日”

中山間地域の様子を学ぶため、帝京大学地域経済学部 of 学生さんが13名参加しました。受入団体である3びきの子ぶた農村体験ばあちゃんの会では、グリーンツーリズムの受入れも行っており、多くの人に農村や農作業の良さを伝えています。

参加した学生は、いちご苗の根を固定している“ピン”を引き抜く作業に、中腰の姿勢で一糸懸命取り組みました。ある学生は「大学で食品流通を学び、効率的な経済を考えている。机上では、出荷した農産物から流れが始まるが、実は出荷するまでにも多くの人たちの労力がかかっているんですね」と話していました。

◀「若い参加者が来ると嬉しい」と受入団体



令和3年度第5回とちぎ夢大地応援団活動(活動報告その4)



那珂川町小砂地区でシジュウカラの巣箱づくりを実施しました。“12月11日”

小砂焼陶芸の里体験センター組合長である藤田さんから、焼き物の土を採取する山を管理する人たちが高齢化で少なくなり、山が荒れてしまったため、有志で少しずつ整備しているとのことのお話がありました。

◀ 比較的若い方の参加が多い活動となりました。

地元の方からの指導を受けながら、シジュウカラの巣箱を巣穴の大きさが直径28ミリになるようにして作りました。

これ以上大きいと他の鳥や蛇などが入り込んでしまうそうです。

完成後には、管理する山へ移動し、各自木に巣箱の設置を行いました。

◀ 金槌やノコギリの使い方を教えてもらいました。





茂木町町田本郷地区で竹林の管理作業を実施しました。
“1月29日”

たけのわ町田本郷では、約1ヘクタールの竹林を整備し、竹炭や竹プランター作り、交流の場などとして活用する計画が進んでいます。

当日は関係者を含め27名が集まり、3班に分かれて作業に取り組みました。

◀ 早朝から元気いっぱいの参加者たち

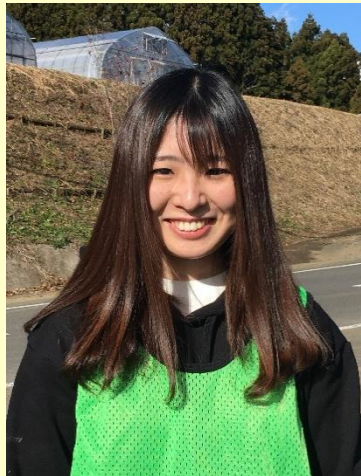


参加した団員は、地元の人たちと一緒に、近くの山林に分け入り、指導を受けながら午前中いっぱい、竹の間伐と伐採した竹の片付けに取り組みました。

高さが10メートルほどに伸びた竹の伐採はかなりの重労働です。多くの参加者たちは初めての体験で、うまく切り倒せたときには大きな歓声が湧きました。

◀ 竹の伐採は、はじめての人がほとんどでした。

令和3年度とちぎ夢大地応援団活動に参加して



帝京大学経済学部
地域経済学科
薄井祐香さん

私は今回、大田原市両郷地区にある生産農家の益子さん宅に隣接するいちごハウスで管理作業のお手伝いをしました。

いちご苗鉢にあるランナーピンを1つ1つ抜く作業でしたが、数が多く大変でした。このようなピンを使い株が動かないように固定することは、発根させる上で、重要なことだと知り、このような工夫で私たちがいつでもいちごを美味しくいただけているのだと分かりました。

私が参加した理由は、農山村地域が抱える現状と課題を学ぶことに興味があり、その解決策を見つけたいと考えているからです。現在の課題は農家の高齢化や担い手不足などですが、自分に何ができるかを考え、とちぎ夢大地応援団の会員になり何度か個人でも参加しています。

しかし参加者には若者が少ないと感じました。地域の活性化には私たち若者の力が必要だと思うので、ぜひ皆さんにも1度参加してほしいです。私は現地に行って地域の現状を実際に見て農作業等を手伝い、これからも勉強していきたいと思います。最後に、お昼で食べた山菜おにぎりやお煮しめ、豚汁など美味しかったです。ごちそうさまでした。

とちぎの「農村」と「人」の「ご縁」をつなぐ(県農村振興課より)

平成17年にスタートした「とちぎ夢大地応援団」の活動は、これまで45の地域で、活動回数延べ151回、参加人数約7,000人と、会員の皆様に支えられ活動出来たこと感謝申し上げます。

私は、平成18年にA会員（ボランティア会員）に登録し、担当として、あるいは団員として参加させて頂きました。

子どもたちも、当時、ジュニア会員として参加させて頂きましたが、既に成人となり、この活動が長きに渡り継続されたことに感慨深いものを感じております。

「とちぎ夢大地応援団」の活動は今年度で終了しますが、その趣旨は、10月に開設した新たな交流サイト「TUNAGU」に引き継がれました。

「TUNAGU」では、SNS等を活用し、農村や協働活動の情報を提供するとともに、地域組織の活動支援も行って参ります。

A会員の皆様も、B会員（地域活動団体）の皆様も、引き続き「TUNAGU」で、とちぎの「農村」と「人」の「ご縁」をつないでいきませんか。

「TUNAGU」から参加する新たな農村ファンとともに、とちぎの「農村」を元気にしていきましょう。

栃木県農政部農村振興課長 増田康則



▲ H30大木須での夢大地応援団活動

とちぎ夢大地応援団からTUNAGUへ期待！（県農業振興公社より）

当公社は、栃木県からの委託を受けて、都市住民と農村の組織で構成する「とちぎ夢大地応援団」の事務局として、平成17(2005)年から活動してきましたが、令和3(2021)年10月から本格運用開始した交流サイト「TUNAGU」にその役割を引き継ぐことになりました。

サイトを通じて幅広い世代の方に農村の魅力が発信され、農村や地域活動に興味がある農村ファンと地域との交流が一層活発になるものと期待しています。

夢大地応援団の皆様には、美しい景観の中で汗を流した充実感や地域の方との心のふれあいを忘れずに、農村ファンの一員と「TUNAGU」を通して活動されますようお願いいたします。緑豊かな農村の原風景や昔から受け継がれてきた伝統文化を農村ファンのみなさんの力で守りつないでいきましょう。

当公社としても、これまでの皆様とのつながりと経験を生かし、今後とも本県の農業農村の発展に貢献して参ります。



公益財団法人栃木県農業振興公社
理事長 鈴木 正人

マッチングサイト「TUNAGU」に会員登録して活動しよう！

とちぎの「農村」と農村貢献に興味がある「人」をマッチングするサイト。
耕作放棄地の解消や鳥獣害対策などのミッション「クエスト」に取り組もう！

こんな方にオススメ

- とちぎの農業・農村に興味がある方！
- 自分のスキルを役立てたい方！
- 体を思い切り動かしたい方！
- イノシシに興味がある方！ などなど



STEP1

とちぎの「農村」を知ろう！

- 「クエスト」動画や記事で地域の魅力や活動がわかる！
- 自分の関心やスキルにマッチした「クエスト」が見つかる！

STEP2

会員登録をしよう！

- 会員になると
 - 「クエスト」に参加できる！
 - 「メールマガジン」で最新の「クエスト」や地域情報を受け取れる！
 - 「マイページ」で参加実績が確認できる！



▲TUNAGUの
HPへのリンク

STEP3

たくさん「クエスト」に参加しよう！

- 地域の人とステキなつながりが出来る！
- 地域からクエストへのスカウト（直接アプローチ）があるかも！

ご質問、お問合せはこちらまで E-mail:noson-sinko@pref.tochigi.lg.jp

とちぎ農村QUEST第2弾・第3弾配信開始！



栃木県では、地域活動の魅力や内容を紹介する動画「とちぎ農村QUEST」をTUNAGU及び「とちぎ農村QUEST」公式アカウントで公開しています。

今年度は3本の動画を作成し、絶賛公開中です。ぜひご覧ください。

とちぎ夢大地応援団

事務局 （公財）栃木県農業振興公社
農政推進部

〒320-0047 栃木県宇都宮市一の沢2-2-13
☎ 028-648-9515 FAX 028-648-9517

とちぎ夢大地応援団

検索

← クリック

栃木県農政部
農村振興課

〒320-8501 栃木県宇都宮市塙田1-1-20
☎ 028-623-2334 FAX 028-623-2337